



## 高月地域づくり広報紙 第1号

たかつき「地域力」第44号



# あ っ た かつ き

高月地域のようす  
(令和4年3月1日現在)  
【人口】  
男 4,653人  
女 4,837人  
計 9,490人  
【世帯数】 3,415世帯

◆発行/高月地域づくり協議会広報研修委員会・高月まちづくりセンター  
◆事務局/高月まちづくりセンター(長浜市高月町渡岸寺 141-1/月曜・祝日・年末年始休館)  
Tel(0749)85-5204 Fax(0749)85-5744 Mail:machisen@a-takatsuki.org



## 令和4年度

### 連合自治会長・自治会長が選出されました

コロナ禍の影響で、高月地域の自治会では総会の開催が書面決議等に変更され、新しい生活様式の中で令和4年度の連合自治会長および自治会長が選出されました。

#### 【連合自治会長】

##### ■富永連合自治会長

木村 和樹 さん

(新井口自治会)

##### ■高月連合自治会長

松田 忠次郎 さん

(高月自治会)

##### ■古保利連合自治会長

大音 俊文 さん

(西柳野自治会)

##### ■七郷連合自治会長

森田 泰司 さん

(横山自治会)

皆さまには一年間たいへんお世話になります。よろしくお願いします。



#### 【高月地域自治会長】

| 自治会名 | 自治会長名 | 自治会名  | 自治会長名 |
|------|-------|-------|-------|
| 井 口  | 野村 幸弘 | 東柳野   | 柳田 正文 |
| 持 寺  | 平井 潔一 | 柳野中   | 森 俊昭  |
| 洞 戸  | 篠宮 建  | 西柳野   | 大音 俊文 |
| 高月尾山 | 小森 義隆 | 重 則   | 前田 正己 |
| 保延寺  | 吉田 誠  | 松 尾   | 前田 英二 |
| 雨 森  | 田中 英昭 | 高月西野  | 成田 栄一 |
| 高 野  | 山口 浩徳 | 熊 野   | 高山 昇  |
| 新井口  | 木村 和樹 | 片 山   | 片山 昭夫 |
| 柏 原  | 宮澤 啓二 | 西阿閉   | 細江 久年 |
| 新柏原  | 上杉 正人 | 高月東高田 | 寺下 智巳 |
| 渡岸寺  | 木村 満則 | 高月布施  | 平川 清伸 |
| 落 川  | 藤森 了堅 | 唐 川   | 吉川 裕一 |
| 馬 上  | 横田 猛士 | 横 山   | 森田 泰司 |
| 森 本  | 中嶋 毅  | 東物部   | 村田 利文 |
| 高 月  | 松田忠次郎 | 西物部   | 布施 智寛 |
| 宇 根  | 宮田 和憲 | 磯 野   | 上松 司善 |
| 東阿閉  | 中上 健二 |       | (敬称略) |

自治会活動は、いちばん身近な住民生活を支え合える共助活動で、コミュニティ活動の根幹です。  
しかし、新型コロナウイルス感染拡大が自治会運営にも影響を及ぼし、自治会活動も制約を受けていますが、感染防止対策を徹底して、今できる取り組みを進めていただきたいと思います。

## 令和4年度

### 高月地域づくり協議会

#### 総会を開催します

■日時 4月24日(日)午後  
■会場 高月まちづくりセンター

今総会は、令和3年度の実績報告・令和4年度の事業計画を審議していただく予定です。

新型コロナウイルス感染状況により、開催について検討する場合がありますが、会員の皆さまには予定の程よろしく願います。

## 高月地域づくり広報紙

### 「あったかつき」を発行

これまで、高月地域づくり協議会の広報紙「たかつき」地域力」と、高月まちづくりセンターの広報紙「高月まちづくりセンターだより」をそれぞれ発行していましたが、今号からその2紙を合体した高月地域づくり広報紙「あったかつき」を発行することになりました。高月地域の皆さまに様々な情報を発信していきたいと思しますので、引き続きよろしくお願いします。





## 地域課題改善

## 要望の回答

高月地域づくり協議会と四連合自治会は、地域住民の日常生活にかかわる諸問題の解決について要望書を提出し、長浜市と滋賀県から回答がありました。

## 【長浜市】

## ◆小中学校通学路の安全対策について

## ◇グリーンベルトの敷設

七郷小学校周辺は昨年度実施し、残りの区間は本年度実施した。

## ◇菅草橋の歩道橋敷設

現段階での整備は非常に難しい状況であり、安全対策について関係機関と協議検討を進める。

## ◆除雪について

## ◇小中学校通学路の除雪

通学時間帯までに除雪作業が終了するように努めるが、集落内生活道路は自治会による地域除雪の対応をお願いしたい。

## ◆適正な市道等の維持管理について

## ◇市道の白線摩耗

要望の箇所については次年度以降に実施を検討する。

## ◇市道の路面補修

要望の箇所については現地確認のうえ、必要な補修を実施する。

◆効果的な獣害対策について  
今後とも積極的な駆除を推進する。

## 【滋賀県】

◆交通安全対策について  
◇ガードレール等の設置

警察・市と調整し、可能な対策を検討する。

## ◇歩道の拡幅等

一連の歩道整備は完了しているが歩行者溜まりについては可能性を検討する。

## ◆河川の維持管理について

## ◇四河川の適正な管理

堆積状況に応じて順次浚渫等実施する。

地域の安全・安心な地域づくりを目指し、引き続き粘り強く関係機関に要望していきます。

## 令和3年度

## 各部会活動報告

## 自治会部会



〈防災研修会〉

今年度も安心・安全に暮らせる地域づくり、「命」を守る

る活動を中心に進めてきました。

11月26日に地震をテーマ

に防災研修会を実施しました。「自分の命を守る」「人の命を守る」「災害に備える」の視点から、私たち一人ひとりがすべきことや自主防災組織の大切さと役割について学び、日々の暮らしにつなげることができました。

## 健康福祉部会



〈ウォーキング〉

大勢のみなさまのご参加のもと、2年ぶりの「福祉のつどい」が高月まちづくりセンターで12月に高月地区社協の共催で開催できました。

そして「健康とふれあいウォーキング」で6月に西野水道や11月に高時川頭首工を訪ね水利の足跡に触れました。7月に老く連高月支部の研修会を協賛できました。

また、他部会事業に合わせ「そうだ！検診へ行こう」と健康づくりの啓発ができました。

今後とも「暮らしの支えあい

## 安全環境部会



〈通学路点検〉

検討会」に参画し、より安心安全な地域づくりを目指します。

6月11日に新井口自治会・富永小学校と落川自治会・高月小学校の通学路安全点検活動を実施しました。いずれも国道や県道を横断することから、市・県・警察からも同行いただき、危険箇所などについて共有を図りました。

引き続き関係機関として引き続き連携し、子どもたちの安心・安全の確保に努めていきます。

## 地域振興部会



〈軽トラ市〉

10月31日に「あったかつきまつり」を開催しました。密を避けるために準備や出店

## 教育・文化・スポーツ部会



〈清水健さん〉

方法を工夫し、軽トラを屋台にした「軽トラ市」を行いました。地元の野菜や工芸品・加工品・食品・お菓子などを並べたお店には、家族連れなど多くの方にお越しいただき、久々に賑わいを取り戻しました。事前に配布したお楽しみ抽選券持参の方に、感謝対策としてマスクを渡しましたが、初めての試みでしたが、大変好評をいただきました。

11月3日にフリーキャスターの清水健さんをお招きして、「大切な人の『想い』とともに」と題して講演いただきました。最愛の妻をがんで亡くされ、幼いお子さんを育てながら、同じように病気で苦しむ人たちの支援活動をされているお話に感動と勇気をいただきました。たくさんの方の参加希望がありましたが、今年も定員を設けるなど感染予防対策をしながらの開催となりました。





# フードドライブ活動にご協力ください！

ご家庭に  
余っている食品は  
ありませんか？



「もったいない」を  
「ありがとう」に

## ○ 寄付いただきたい食品

- お米(令和3年産)、小麦粉、乾麺
- 缶詰、瓶詰
- お菓子、粉ミルク、離乳食
- 飲料(ジュース、コーヒー等)
- インスタント食品、レトルト食品
- 調味料(しょうゆ等)、食用油
- インスタントコーヒー など

### ご確認ください！

- 常温保存可能
- 賞味期限まで1ヶ月以上ある
- 未開封で包装が破損していない
- 商品説明が日本語で表記されている

## × 寄付できない食品

- ×生鮮食品(野菜、肉など)
- ×常温保存できないもの
- ×賞味期限が1ヶ月ないもの
- ×開封されているもの



## フードドライブ活動

〜余った食べ物を〜

寄付する活動！

フードドライブとは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動を言います。

この活動は、社会福祉活動としてだけではなく、

- 食品ロスの削減
- 貴重な食糧の有効活用
- 廃棄物の削減により焼却処理や収集運搬の減
- 食べ物や環境を大切にすること意識の向上

寄付いただける食品がありましたら、ぜひ高月まちづくりセンターへお持ちください。玄関にフードBOXを設置していますので、その中に入れてください。その際に、寄付いただける食品が再度確認くださいますようお願いいたします。

皆さまでからご寄付いただいた食品は、「フードバンクながはま」を通じて長浜市内の必要としている方々に配られます。

〈フードBOX〉



ここに  
あるよ！



## 食から広がる

あったかい地域づくりへ

家に少し余ったものを気軽に寄付することで、フードロスを削減しつつ、必要な方へ届けられることができます。また地域の絆のネットワークを広げることにもつながります。ぜひともこの活動にご賛同いただき、ご協力ください！ますますよろしく願いします。

## つつじ作業所で収集している5種類

【お願い】④チラシと⑤雑誌が混ざらないように分別をお願いします。

① アルミ缶

② 新聞

③ 段ボール

④ チラシ

(新聞折り込みの広告)

⑤ 雑誌

(パンフレットやカタログも含まれます)

つつじ作業所は、しょうがいのある人たちが安心して暮らしているように支援する施設です。パンや味噌などの製造販売の他に、資源ごみ収集日にアルミ缶などを収集して取扱業者に販売する業務も行っています。その販売額は入所者への支援に役立てられます。令和3年度は約85万円の販売見込みですが、年々減ってきているのが現状です。地域の皆さんのご協力が、支え合い・助け合える社会づくりにつながります。アルミ缶などは、つつじ作業所へのご提供をお願いします。

つつじ作業所の  
アルミ缶・新聞・チラシ・雑誌・  
段ボール収集にご協力を！



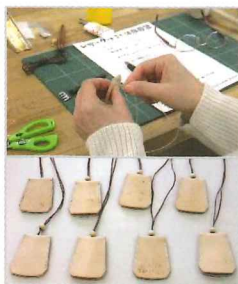


## 高月まちづくりセンターだより

No.21-9 第57号

3/5(土)・3/12(土)

高月まちセン講座  
子どもヒップホップ  
ダンス体験教室  
A-J(アンジェイ)さんを講師にお迎えして、ヒップホップダンスを体験しました。



べんがらの朱を皮革に活用した「長濱レザー」で革小物を制作されている町本卓也さんを講師にお迎えして、革のキーケースット(キーケース)を作りました。町本先生の軽快で丁寧な指導の下、とてもリラックスした雰囲気の中で作業に取り組みことができました。

2/27(日)

高月まちセン講座  
レザークラフト  
ワークショップ



2/1(火)~2/15(火)

ロビー展  
MATCH LEATHER  
Works 作品展



2月27日の「レザークラフトワークショップ」の講師の町本卓也さんの作品展を開催しました。べんがら×柿渋塗装の「長濱レザー」の奥深い色あいに、多くの方が見入っておられました。

2回の連続講座で、子どもたちに交ってお母さんたちも参加。移動式の大きな鏡の前で、スピーカーから流れる音楽にあわせて、キレイダンス。ダンススタジオでのレッスン風景さがらでした。



2/16(水)~3/3(木)

ロビー展  
池坊いけばな教室  
早春いけばな展

早春を華やかに彩る美しい作品を展示していただきました。ありがとうございました。



2/25(金)~開催中

ロビー展  
第73回長浜市美術  
展覧会受賞作品展



市展賞・特選を受賞された6名の方の作品と特別出品の作品を展示させていただきました。皆さまの益々のご活躍を祈念いたします。



140サイズの黒ジャンパーとグレーの手袋

忘れ物を預かっています  
子ども学び座クラブの参加者で、お心当たりの方はご連絡ください。

湖周道路「片山トンネル」の上には、古墳群が広がっています。国指定史跡「古保利古墳群」です。この古墳群は、全国の古代史研究者から注目されています。

【注目ポイント①】規模がでかい。細長い丘陵上の南北に、わが国最大級の333.5キロメートルにわたって基もの古墳が築かれています。

【注目ポイント②】年代が長い。3世紀から7世紀にかけて、つまり古墳時代に

高月町のたからもの古墳群



の最初期から終末期まで、古墳時代を網羅しています。

【注目ポイント③】古墳の形状が豊富。円墳・方墳・前方後円墳・前方後方墳・双方中円墳などが含まれ、この古墳群だけで古墳の教科書が作れるほどです。

【注目ポイント④】出土品から見えるもの。小松古墳から出土した壺形土器(3世紀前半)が出土しました。この頃、邪馬台国政権のもとで古墳造りが始まったとされ、3世紀前半の古墳は、奈良県のみならず存在しないと考えられてきました。小松古墳からの出土はそれを覆す結果となり、邪馬台国を支える有力な勢力が高月の地に存在していたことが想定されています。

(高月観音の里歴史民俗資料館 西原雄大)

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で講座が中止や延期になり大変ご迷惑をおかけしました。

令和4年度も引き続き感染拡大の状況を見極めながら、様々な講座やイベントを開催する予定です。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

高月まちづくりセンター  
職員一同